

1. 学区の特徴

■全体的な特徴

○ 地形・自然

篠原学区は、野洲市の東部に当たり概ね日野川を境に近江八幡市、竜王町に隣接している。南東部は山地が大きく広がり湖南市に接している。南西部は家棟川を境に祇王学区に接し、北西部は中主学区に接している。山手の小堤、大篠原地域は学区内では工業化が進み大企業が設置されている一方山林に恵まれ各々森林組合が設けられている。下流部の長島、高木、小南地域は工業・商業施設が見られない田園風景が広がっている農業地域である。篠原駅周辺は新興住宅地で学区内では一番住宅が密集した市街化区域である。

○ 人口分布

野洲市の人口 50,590 人の中、篠原学区は 3,744 人と 6 学区（7 自治会）の中で一番少ない。

○ 高齢化

篠原学区の人口に占める 15 歳未満の比率が 12.1%と 2 番目に低く、65 歳以上は 24%と一番高く、野洲市内の中で少子高齢化が顕著に現れている。

○ 交通

学区内を JR 新幹線並びに JR びわ湖線が横切り、最寄り駅の篠原駅がある。

一方、主な道路においては国道 8 号線と主要地方道大津・能登川・長浜線が、同じく近江八幡・守山線が通過している。

○ 歴史・人物

大篠原は平家終焉の地と伝えられている。平家一門の大将・平宗盛、清宗

親子が鎌倉から京都へ送り返される途中、近江篠原で惨殺された。現在も「平宗盛卿終焉之地」と刻まれた石碑と石仏が残っている。

また、同地区には大笹原神社があり国宝に指定されている。

■農業・林業関連の特徴

○ 農業の形態

篠原学区では篠原駅前の住宅地域は市街化区域で非農家地域であるが、それ以外の地区では専業農家と農地を所有しながらサラリーマン勤めをしている状況である。

専業に農業を営んでいる者は、小規模農家の田地の耕作の委託を受けて大規模営農へと移行している。米栽培が主であり「愛郷米」として自主流通米として販売されている。一方減反政策等で豆類、麦類の栽培が行われている。

一部ではきゅうり、イチゴなどのハウス栽培、花類の炉地栽培が行われ市場への出荷や自家販売されている。

県立野洲養護学校や悠紀の里へ給食用食材として納入されている農家もある。

○ 林業の形態

大篠原・小堤地区では、生産森林組合が管理している山林が併せて 200 ha 程、外に個人所有の山林がある。生産品として薪・柵などがあり野洲のすまいる市に定期的に出荷されている。間伐材を利用して作った杭やシイタケ栽培も行われている。

また、個人経営で大規模な果樹園経営を行い梨、柿、ブルーベリーの生産を行っている農家もある。山林の一部は杉、檜の植林が行われ管理されている。

民家に近い里山の部分は雑木が茂り、動物をはじめ多くの鳥類、昆虫、野

草の生息が観察できる。



○ 特産物

篠原糯、しのはら土、梨、柿、ブルーベリー、薪、柵、間伐材製品等

■ 商業関係の特徴

○ 地元の小売

篠原学区内での食品にかかる小売店舗は、小堤の「ふじや」豆腐店、小南地区の「豆清食品」である。「ふじや」は自家栽培の大豆（全使用量の5割）を原料として豆腐・油揚げを製造されている。「豆清食品」は店での販売に加え、古くから小南、高木、長島地区に対し軽自動車に食品を積み出前販売をされている。季節野菜は地元産を扱われている。

大篠原地区では、「南農園」、が梨、柿、りんご、ブルーベリーなどの果樹やジャムを生産し、自宅販売をはじめインターネットを利用した通信販売もされている。

他にも数軒で柿、梨の生産販売をされている農家がある。

○ 大型店舗

篠原学区には大型店舗は皆無である。

○ チェーン店

篠原学区には、コンビニエンスストアが、大篠原に3店舗、小南に1店舗設置されている。

■ 観光関係

○ 神社・仏閣



大篠原地区には国宝大笹原神社がある。

境内にある『鏡の宮』は、当地区で良質のもち米（篠原もち）が獲れ、鏡

餅発祥の由来から、鏡餅の元祖が祀られている。

また、光雲寺岩蔵寺があり、秘仏の薬師如来立像は国の重要文化財になっている。



○ 自然

篠原学区は、びわ湖には面していないが向山（夕日ヶ丘）や篠原山一帯の山麓と平野部に開けた農地によって豊かな環境、風景を形成していて自然に恵まれている。

○ レジャー施設

南側に希望が丘公園が隣接している。

■学区で特に自慢できること

体育振興において、学区が一丸となり事業に取り組んでいる。青少年育成事業では学区内の指導者が篠原小学校生徒で結成された「しのっ子ジュニアオーケストラ」を結成しイベントで演奏披露されている。

「しのたけ記念館」小学校100周年事業で建てられた、陶芸釜と陶芸作業室を使用し、地元の陶芸師の指導によりしのはら土を使ってしのはら焼きが体験できる。まさに地産地消である。

■学区のウイークポイント

少子高齢化が顕著で小学生をはじめ児童数が減少の一途。

反面、高齢化が進み老人が増加の一途である。

商店、レジャー施設が無い状況で魅力に欠け若者が流出。

農業地域でありながら後継者が少なく離農者が増加している。

2. 地元商品取扱店の調査

◆地元商品を取り扱う店(別添の地図中に位置をマーク)

● 店の内容

□店の名前：ふじや、

代表者氏名：栢木富士雄、

住 所：野洲市小堤373

営業時間：8時から19時

定休日：月曜

駐車場：なし

連絡先：587-1382

取扱品目：豆腐、油揚げ、田楽

店のコンセプト：使用する大豆は自家産を心がけ、豆腐の製造もあえて手作りに徹している

購買者の傾向：近在の方、口コミによるやや遠方の方、市内での移動販売、

納入先：近江んち、悠紀の里



□店の名前：豆清食品

代表者氏名：奥山清定

住 所：野洲市小南2101

営業時間 9時から18時

定休日：なし

駐車場の有無：なし

連絡先：587-1038

取扱品目 乾物、魚、パン、菓子、飲料水、果物、加工品、野菜等、

店のコンセプト：店まで来れないお客に対し移動販売を併用してスーパーや他店に対抗

購買者の傾向：地元の人

納入者の傾向：季節野菜の時期には地元生産のきゅうり、キャベツ等を納入する。

□店の名前：南農園、 代表者氏名：南 次雄

住所：野洲市大篠原 1955 営業時間：常時

定休日：なし 駐車場の有無：有り 連絡先：587-1305

取扱品目：梨、柿、りんご、ブルーベリー、ジャム、蜂蜜等」

店のコンセプト：冬季の果物が収穫できない時期には、冷蔵富有柿、ジャム、
蜂蜜などの自家製加工商品を扱っている。

自家農園 125a を家族で経営。

購買者の傾向：地元の人、すまいる市、おうみんちで販売、通信販売



外観



3. 地元商品を販売するイベント

◆ しのたけトレトレまつり（収穫祭）

出店の品物は 白菜、大根、日野奈、青ねぎ、ほうれん草、長いも、柿、
花類、観葉植物等、たこ焼き、お好み焼き、焼きそば、おでん、う
どん、ポン菓子、綿菓子、ポップコーン、小豆、大豆、味噌、



篠竹トレトレまつり

11月14日

しのはらコミセン前庭で実施

誰が出品 野菜等は自治会内の生産者・有志

主催 しのはらコミセン・自治連合会・商工会等

参加者 学区在住の農業者・学区一般区民

来客数 500人程度

商品 大根・白菜などの野菜、豆類(小豆、大豆、黒豆)、イモ類(サトイモ、長いも、さつまいも)、味噌

4. 地元に伝わる伝統料理やもの、伝統芸能など

1月 左義長

5月 まつり

しのはらとれとれまつり

